

出資法人等評価・カルテシート

1 出資法人等の概要

団体名	公益社団法人豊中市シルバー人材センター		
所在地	豊中市北桜塚3-1-28	所管部局・課	市民協働部 雇用労働課
設立年月日	昭和56年6月30日	代表者	理事長 高塚準一郎
基本金・資本金		うち市出資額(率)	円(%)
設立目的	定年退職者等の高年齢退職者(以下「高年齢者」という。)の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務(当該業務に係る労働力の需給の状況、当該業務の処理の実情等を考慮して厚生労働大臣が定めるものに限る。次条及び第5条において同じ。)に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。		

2 役員・職員関係

各年4月1日現在

		H22		H23		H24	
		市派遣	市OB	市派遣	市OB	市派遣	市OB
役員	常勤	1	0	1	0	1	0
	非常勤	18	2	18	2	13	2
職員	常勤	7	0	7	0	7	0
	非常勤	1	0	0	0	0	0
役員の平均年間報酬(H23年度、千円)※常勤のみ		*		職員の平均年間給与(H23年度、千円)※常勤のみ		6,992	

3 財務関係

		金額(千円)		
		H21	H22	H23
損益計算書	総収入	729,535	735,338	676,658
	(うち市受入金)	62,491	63,573	45,506
	総費用	735,954	740,961	690,326
	経常損益	▲6,419	▲5,623	▲13,668
	当期損益	▲6,419	▲5,623	▲13,668

		金額(千円)		
		H21	H22	H23
貸借対照表	資産の部合計	188,380	175,625	157,987
	負債の部合計	65,833	81,260	77,306
	(うち有利子負債)	0	0	0
	純資産	99,988	94,365	80,681
	利益剰余金	99,988	94,365	80,681

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		H21	H22	H23	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	62,491	63,573	45,506	
	事業費	0	0	45,506	前年度補助金の2/3程度
	運営費	62,491	63,573	0	正規職員及び市OBの人件費補助
	委託料	98,540	103,733	108,363	ペットボトル回収、緑道清掃などの業務
	指定管理委託料	0	0	0	
	その他	0	0	0	
計		161,031	167,306	153,869	
ストック	貸付金残高	0	0	0	
	債務保証残高	0	0	0	
	損失補償残高	0	0	0	
	出資金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
計		0	0	0	

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	H21	H22	H23
就業機会確保事業	会員に就業機会の提供 仕事に契約までに至った件数	就業率	76.4%	77.8%	75.5%
		契約件数	11193件	11201件	11185件
労働者人材派遣事業	会員に就業機会の提供	延べ就業人数	364人	490人	10621人
		事務手数料	124千円	167千円	4119千円
無料の職業紹介事業	会員に就業機会の提供	延べ就業人数	110人	95人	486人
普及啓発事業	会員の入会促進 仕事の依頼があった件数	粗入会率	1.8%	1.8%	1.7%
		申込件数	11865件	11897件	12586件

(2) 財務指標

指標	視点	内容	H21	H22	H23
市受入金比率 市受入金/経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	8.56%	8.64%	6.72%
人件費比率(%) 人件費/経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	12.79%	12.43%	13.90%
管理費比率(%) 管理費/経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	12.18%	11.72%	15.30%
正味財産比率(%) 正味財産合計/(負債+正味財産合計)×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	53.07%	53.73%	51.06%
固定比率(%) 固定資産/正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表わします。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	60.57%	35.06%	33.20%
流動比率(%) 流動資産/流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	194.14%	230.93%	232.54%

(3) その他

ア 給与体系

区分	<input type="checkbox"/> 独自体系 <input checked="" type="checkbox"/> 市の体系を準用 <input type="checkbox"/> その他（ ）
見直し予定	<input type="checkbox"/> 予定あり（ 年度予定） <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 済み（ 年 月）

イ 情報公開

公開ツール	<input type="checkbox"/> ホームページ（URL： ） <input type="checkbox"/> 広報紙 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所備え付け <input type="checkbox"/> その他（ ）
公開内容	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告 <input checked="" type="checkbox"/> 経営計画 <input checked="" type="checkbox"/> 財務諸表

ウ 指定管理者の状況

施設名	指定管理期間	備考

6 経営上の課題

<ul style="list-style-type: none">・会員の粗入会率が1.7%で、大阪府（2.0%）及び全国平均（1.9%）よりも低い。特に、女性会員の入会が少ない。・豊中市内の事業所の規模や業種の関係からか、登録している会員へ就業紹介できる仕事が少ない。・国・市とも、財政事情から補助金の先行きが見えない。
--

7 経営改革の取り組み（平成24年度）

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
中期発展計画の具体化	平成24年度は、中期発展計画を具体化して行くための計画づくりと経営上の諸問題の解決策を合わせて、委員会や部会で検討を進めいく。	平成25年度から中期発展計画を元に運営を行っていく。また、計画の中間期に事業の検証を行い、計画の見直し等を行っていく。

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
必要性 ・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか	少子高齢社会が進展し、活力ある地域社会、地域を支え合う社会づくりのために必要である。 また、団塊世代が65歳に到着しはじめ、会社から地域社会へと生活の基盤の移動が本格的になり高齢者の活動拠点としてセンターへの期待が大きくなる。	センターに来る仕事は、100%受注できるように、ニーズにあった新規入会者を増やしていく。 既存の会員には、希望職種を問わず就業するよう促していく。 チラシ、CATV、講演会等を活用し、新規会員の募集や仕事の開拓に努めていく。
効率性 ・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか ・組織体制、人事給与水準は適正か	中期事業発展計画を具体化していく中で、検討を行っていく。	人件費については、評価制度導入を検討していくとともに、事務局内の人員について、配置可能な部署から会員に置き替え、人件費の削減に努めていく。 また、運営経費についても、縮減に努めていく。 新入会員に対し入会説明会や登録会の

		時に、積極的に就業紹介を行っていく。
有効性 ・意図する成果に有効に結びついているか	中期事業発展計画を具体化していく中で、実現化を図っていく。	法令遵守の中で、会員数の増強をし、発注者の多種多様なニーズに応えていけるように努めていく。
総合評価	新入会員の入会動機が、生きがいから経済的な理由が増えてきていることから、年金に+αを求めていると考えられる。また、ハローワークでも60歳以上の雇用が厳しい現状から、センターのような雇用関係の発生しない就業紹介であっても、働く場を提供するという意味で、この事業は重要と考える。	中期事業発展計画を具体化していく中で、検討を行っていく。また、公益社団法人として、高齢者、一般市民、事業所など不特定多数の利益になるような公益（社団）法人をめざしていく。

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
団体の存在意義 (必要性) ・出資目的は薄れていないか ・市の施策の方向性に適合しているか	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律（以下単に「法」という。）に基づき、定年退職者等の高年齢退職者（以下「高年齢者」という。）の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する目的で設立されており、これらの目的達成に向けた取組みを行っています。	市においては、シルバー人材センターの所管部局を福祉部門から労働部門に移管しました。このことを受け止めていただき、今後、高年齢者がますます増加していくという社会状況を受け止め、高年齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、社会ニーズに迅速かつ適切に応えていっていただき、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりへの寄与を一層推進していただきたいと思います。
団体の活動領域 (効率性・有効性) ・出資法人等を活用するメリットはあるか ・出資法人等にしかできないことか	法により、高年齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する目的で設立されており、これらの目的達成に向けた一層の取組みを期待しています。	法に基づき設置されている法人であるので、市民の信頼を維持・増進し、今後、増加していく高年齢者のニーズに合うよう、その目的達成に向けて、新たな活動領域の開拓等を着実に遂行していただきたいと思います。
団体と市との関係性 (効率性・有効性) ・事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか ・市の関与は適切か	高年齢者の就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るととも	高年齢者の就業機会の確保や、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進、さらに高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりは、重要な施策の推進であるので、今後も関与を続け、

	<p>に、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりへの寄与は、市の施策の推進と同方向を示しています。</p> <p>なお、上記目的を達成するため、補助金及び役員（理事）の関与を行っていますが、経営改善並びに会員数の増及び会員の満足度を一層進めていただきたいと思います。</p>	<p>経営改善並びに会員数の増及び会員の満足度など、中期事業発展計画で示された目標達成が実現できるよう、一層進めていっていただきたいと思います。</p>
<p>総合評価</p>	<p>法の目的を達成するよう、法が認める活動領域で、就業援助、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに一層の寄与・貢献を図っていただきたいと思います。</p>	<p>高齢化が進む一方、地域経済の発展が困難な下で、就業援助、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを進めていっていただきたいと思います。</p> <p>そのためには、新たな活動領域の開拓や、事務の効率化や営業体制の強化などを進めるとともに今年度策定された中期事業発展計画を着実に遂行していただきたいと思います。</p>